



アイヌの民族衣装(北海道、網走市)

# 元気っ子

No.215 ながさわ保育園

平成 27 年 7 月号

園 長 市 川 温 予

はっきりしないお天気が続き、うっとうしい梅雨期です。

梅雨期は蒸し暑くなったり、激しい雨が降って急に気温が下がったりと気候の変動が激しくなります。保育園では、登園時や降園時の健康観察を丁寧にし、室内の換気、手洗い、うがいをこまめにしたりと子ども達の健康保持に気を付けるようにしています。大人にとっては嫌な雨でも子ども達は雨という環境ともうまく付き合っています。デッキから園庭をながめ、「川みたいになってきた。」「いっぱい水たまりができてきたなあ。」など、子どもなりに会話を楽しんでいるようです。この梅雨の時期は長時間を園内で過ごすことが多くなります。少しでも子ども達が気持ちを発散できる環境や遊びの工夫が必要です。静と動のバランスや開放と集中を考え、先生達もいろんなことを提案しながら毎日の生活を楽しんでいます。

異年齢クラスの様子を見ていると、友達と同じ場で遊びを楽しむ子、一人でじっくり絵本を読んでいる子、また、ダンゴムシ、カタツムリ、カエルなどの小動物を捕まえて触ったりじっと観察したりしている子などいろいろな姿があり、楽しいです。

また、雨上がりの散歩に出かけたりして、小動物との出会いや地域の畑の夏野菜の生長などに気づく子どもいます。散歩中に出会った地域の方も優しく声をかけてくださり、子ども達も笑顔で「こんにちは。いってきます。」と人として大切な挨拶を身につける機会でもあります。

先日はりす組が消防署（鈴峰分署）にでかけました。実際に目の前で消防車、救急車そして、消防士さんが放水をしているところを見せていただき、とてもいい体験をさせていただきました。快く受け入れてくださった鈴峰分署のみなさんに感謝です。



ライオン組は、おんべ川（川遊び）に出かけました。おんべ川までの道のりをいろいろな会話をしながら楽しそうに歩いていました。いろいろな景色を見ながら、いろいろなことを感じ、心がゆったりとした時間を過ごす大切さを私も子ども達と一緒に歩いていて感じました。大人も子どもも川という環境の中で時間を共有し、「おもしろかった」「楽しかった、また来たいね」とその思いをみんなで共有することが大切だと思いました。子ども達一人ひとりがその子なりの楽しみ方で遊んでいました。その笑顔は本当に子どもらしくて、心の底から楽しんでいるんだと見ていてとても嬉しくなりました。地域性、ながさわ保育園の周りの環境は素晴らしいです。



7月は、本格的にプール遊びがはじまります。子ども達の大好きなプール遊び、泥んこ遊びなど、夏ならではの遊びをいっぱい実体験させてあげたいと思います。これからたくさんの友達、そしていろいろな実体験をし、夢中になって遊んで、遊んで、心から楽しめる環境を提供していきたいと思います。また、水の事故、熱中症等ないように、安全面、体調面には十分に気を付けて楽しい時間を過ごしていきたいと思います。